

歯周病ってどんな病気だろう④



あんざい・よしみつ
1967年生まれ、
小田原市出身。日本歯
科大学歯学部卒業。

おだしか健康レポート ODASHIKA HEALTH REPORT



— 10 —

これまで歯周病について、その成り立ちや歯周病の進み方について話してきました。歯肉炎の治療には plaque control ※が重要であること、を説明しましたが、歯周炎に移行した場合どのように治療を行えば

歯周炎の治療

良いのでしょうか。日本では国民皆保険制度のもとすべての国民が歯周病の治療を受けることができます。その医療保険制度には一定のルールがあるため、そこから少し離れて話を進めていきます。

外科療法と非外科療法

細かい治療法はいくつもありますが、世界標準として外科療法と非外科療法に大きく分けられます。このよう

な表記で分かるように歯周炎の治療は外科療法を中心を考える必要があります。外科療法を選ぶか、非外科療法を選ぶかは難しい側面があります。

非外科療法では歯肉炎の治療と同様に歯石と歯垢の除去により炎症を消退させます。し

歯周治療の難しさ

これまで説明したように歯周炎であっても治すことはできます。治療後は歯肉炎の項で述べたように日々のセルフケアが重要になります。しかし、それだけでは速やかに再発する可能性があります。なぜならば歯肉炎と異なる歯槽骨の破壊の破壊による形態の変化や一度歯周ポケットを作



(図1)歯周病の進行を示す模式図

まじろ

医療保険制度は疾病保険とも呼ばれ、病気に罹らないと利用できないのが原則になります。本来であれば歯周炎が治った時点で医療保険の適応から外れることになるのです。しかし、歯周病に限らず二次予防の重要性から多くの場面で保険診療での受療が可能になっています。歯周病で困ることのないように主治の歯科医師と相談してみてください。

ポイント

- ・ 抜歯は治療ではなく敗戦処理
- ・ 歯周炎は後遺症を伴い治る
- ・ 歯周炎の治療後は再発防止が難しい

※ plaque control の表記に関しては、10月に説明しております。神静民報社のご厚意もあり小田原歯科医師会ホームページにて過去の掲載記事を公開しております。

小田原歯科医師会事務局

TEL. 0465(49)1311
FAX. 0465(49)1551

〒250-0875 小田原市南鴨宮2-27-19

一般社団法人小田原歯科医師会は、小田原市、箱根町、真鶴町、湯河原町の歯科医師会会員で構成されています。このホームページでは、一般社団法人小田原歯科医師会が主催、後援または協力している事業とそれに関する情報やお知らせを紹介しています。

<https://odawara-dent.or.jp/>

小田原歯科医師会 検索

歯と口腔に関わるご相談
往診・歯科訪問診療の
ご相談は

一般社団法人小田原歯科医師会
地域支援歯科連携室
まで

TEL/FAX 0465(49)1319
月～金
9:00～12:00 13:00～17:00